

「プロジェクト説明会」



いよいよプロジェクトが始まります。



まずは自己紹介。ほかの参加者と交流を図ります。



グループ分け。言葉を交わさず、手振りで誕生日順に並びます。



喪失体験。カードに6つのキーワードを書いていきます。



じゃんけんに負ければ、6つのうち1つを破らなければなりません。



山崎氏の講演。これまでの体験をもとに、お話いただきました。

初対面

説明会には15名の参加者が集まりました。参加者は18歳から33歳まで、住所は滋賀、京都、福岡など、専門はスウェーデン語、生物学、写真、土木、都市計画など様々でした。これから始まる7日間に期待と不安と緊張が入り混じっているようでした。(1)

プロジェクト開始

そして、いよいよプログラムスタート。まずはお互いを知るための基本である自己紹介で始まりました。(2) その後、グループに分かれて(3)「喪失体験」というゲームを行いました。じゃんけんに負けたら、紙に書かれた「友達」「お金」「家族」「役割」「やる気」「健康」の6つのキーワードをみんなの前で破り捨てていきます。じゃんけんに負けた人が「本当は破り捨てたくない」という表情で、破り捨てる姿が印象的でした。(4・5) プログラムが進むにつれて、参加者の方の気持ちも和み、お互いの距離感も近づいていきました。

山崎氏講演

「人生をフルコースで深く味わうために」をテーマに山崎氏の講演が始まりました。先ほどの喪失体験で人生には捨てていかなければならないものがたくさんあることを実感した参加者に、「1度しかない人生をどう楽しむのか」について講義していただきました。多くのプロジェクトに関わる山崎氏は、時には20近いプロジェクトを同時に進めていくこともあるそうです。なぜ、これほど多くのプロジェクトを進めることになったのか、さらには個々のプロジェクトがどう展開し、自身の人生にどう活かされているのかについてお話いただきました。(6)

ひとつの目標に向かって

講演の後は、みんなで「深い自己紹介」を行い(7・8)、その後、体を使ったワークを行いました。司会者から「頭が2つ、手が6本、足が3本のモンスターを作り5歩歩いてください」と指示が出ました。グループに分かれて、みんなで話し合い、ひとつのモンスターを形造るため、様々なことを試してみました。みんな無理な体勢になり、息切れをおこしながらも、グループが協力して何かをつくりあげる楽しさを共有することができました。(9・10)

プロジェクト説明+本日の感想

事務局より、今回のプロジェクトの内容について説明を行われました。(11) その後、参加者、事務局が円形に座り、その日の感想を話しました。「是非、参加したい」「早くみんなと仲良くなりたいです」「今後のプログラムも楽しみで仕方ありません」などの声を多く聞くことができ、プロジェクト初日は、ほとんどの人が参加することを表明して終了しました。(12)

〔他の感想〕

- ・学校で話しても反応が無いことをここで話したら反応があった驚きと新鮮とでいっぱいです。
- ・集まっている人がばらばらで面白かったです。



深い自己紹介。フリップに書かれたことをもとに自己紹介します。



ここで新たな発見ができました。



モンスター。グループで協力し合いモンスターをつくりあげていきます。



無理な体勢をとらなければいけない場面も。



プロジェクト説明。これからの流れについてしっかり確認しました。



この日最後の意見交換。皆さんに一言ずつこの日の感想をいただきました。